

⑬ 教員研修	学校全体で取り組む「がん教育」推進のための教員研修		
研修場面	市保健主事研修会	研修時間	90分
テーマ	子どもたちと一緒に考えるがん教育にむけて		
外部講師	がん看護専門看護師		
対象者及び参加人数	1 教職員（市内保健主事 32名） 2 関係機関（市教育委員会指導主事 1名・教育事務所指導主事 1名）		
ねらい	がん教育についての理解が進んでいないため、本研修を通して、各学校に還流してもらうことができると考える。		
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約1か月前に病院にて打合せ。</li> <li>・当日の進め方、参加者や研修の方針について確認、会場までの移動について確認</li> </ul> <p>【当日の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「がん教育について」</li> <li>・協議「子どもたちと一緒に考えるがん教育にむけて」</li> <li>グループワーク事例</li> <li>「明らかにウィッグを装着し、肌の色が黒ずんで見えるお母さんが、授業参観に参加していた」</li> </ul>		
成果・感想	<p>【成果】</p> <p>新たな視点でがん教育について考える機会になった。保健主事を中心にがん教育について、各学校でリーダーシップをとってもらい指導者の育成の機会となった。</p> <p>【感想等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで担任した学級にがんを苦しむ家庭はなかったため、グループワークで話し合った事例のようなことについては考えたことはありませんでしたが、がんの体験者やそのご家族の苦しみがここまで深いものとは知らず、大変勉強になりました。事例のような状況になった場合、がんの経験者とその子どもたちの思いを理解し、声をかけていこうと思います。</li> <li>・二人に一人が、がんになるという現代において、児童の保護者ががんになることも十分考えられる状況にあります。事例にあったような状況も、今後、増えてくるものと思われる中で、自分自身、深く考えさせられました。昨年度、自分のクラスの児童の母親ががんになり、その方と何度かお話しすることがあったので、保護者ともしっかり話し合い、最善と思える対応をしていく必要を感じました。学校教育の場面では、あまり、ふれられてこなかった内容だったので、とても考えさせられました。</li> <li>・がん治療をしている保護者や児童への対応についてのグループワークは、とても参考になりました。先生方の意見を聞いてよかったです。講師の先生のお話から、家庭のことはデリケートなことなので慎重に対応していくことが大切だと思いました。</li> <li>・先日、学級の生徒で「祖母ががんで長くないと両親から告げられ、笑顔で過ごしたいけど悲しくなって泣けてしまい、顔を見ることができない。どうしたらよいか。」と相談を受けたところだったので、今回の研修を受けながら自分の対応はどうだったかと思い返していました。アドバイスとして、普段通りの接し方をすること、今あなたができることを頑張る（受験に向け頑張り、良い報告ができるように）こと、を伝えました。逆に気を遣われることが良くないということだったので、このような声かけでよかったのかなど、いろいろなケースがあると思いますが、教員としては生徒に寄り添えるよう心がけていこうと感じました。</li> <li>・今回の小学生の反応は、特に低学年では起こるであろう素直な感想でした。では、どのように対応したらよいかとグループワークを行い、皆さんと意見を交わすことで、児童本人が何を望んでいるのかを聴くことや母親がどう考えているのかを聴くことが大切であり、教員として子どもたちに愛情をもって接していこうと改めて感じました。</li> <li>・がんとはどのような病気か、どのような治療方法があるのかを知ることができました。がんの治療方法は4種類あり、患者の価値観や希望する生き方に合わせて治療法を考えていくという話が印象的でした。また、グループワークでは、実際にがんになった人が身近にいる場合、その人に対する差別的な発言に対して、どのように対応するかという、切実な話題を話し合うことができました。がんと戦うことは、病気と闘うことでもあり、偏見との戦いでもあったと感じました。本人や家族の心情を思いやりながら、最善の方法を模索していくことが大切だと思いました。</li> <li>がん教育というと「治療法」や「患者さんにどう接するか」などの視点しか考えつきませんでした。講習を受けて、「がん患者さんの子どもへどう接するか」という視点に気づくことができました。家庭に事情がある児童・生徒へ十分配慮して教育活動を行っていきたいと思います。</li> <li>・特にグループワークで、AくんやCくんはどう対応するのか話し合い、発表した内容がとても勉強になりました。講師の先生が医療現場で日頃、関わって見えるがん患者（保護者）の方の気持ちや様子なども教えてくださったのもよかったです。</li> </ul>		
今後の取組予定	・養護教諭、少経験者、保護者とともに考える学校保健会での研修会を計画したい。		